

CIMA

THE BIG GLORIA

NISSAN GLORIA CIMA TYPE II LIMITED Specifications

*Overall length 4890mm Overall width 1770mm Overall height 1580mm Wheelbase 2735mm
Tread front 1500mm Tread rear 1520mm Engine VG10DET Inve cam high-flow ceramic turbo
Displacement 2960cc Bore x stroke 87.0 x 83.0mm Compression ratio 8.5 to 1
Max. power (net) 255PS/6000rpm Max. torque 35.0kgm/3200rpm
Transmission Automatic 4-speed Suspension front Independent struts
Suspension rear Independent semi-trailing arm with Electronically Controlled Air Suspension system
Brakes front & rear Ventilated discs with 4-wheel anti-lock brake system
Tires 205/65R15 93H steel radial*

NISSAN
GLORIA CIMA

まったく新しい「豪華車を代表するビッグ・カー」には、スベイン語で「頂点、完成を意味するCIMA（Pinnacle）という名をききました。

このCIMAには多岐にわたるイメージが込められていますが、ACANTHUS（acanthus）です。アカシヤも、海老・ローブ（甲殻類の多年草で、年間を通じて緑をたもたし、その心を開きしめる植物。古代ギリシア・ローマ時代のもどった装飾物の原型には、このアカシヤが装飾をモチーフとして多く用いられています。故事の象徴というより、盛かみを伝えるモチーフとして選ばれたのです。

シーマは、そのアーダースコフ、キープレードなどに、このアカシヤ文様を取り入れています。

量型制作は彫刻家・三田隆典二氏の手によるもので、シーマの持つ彫品と手造り感を表現しています。視点にあれものだけという、ゆとりと豊饒。なほ、アカシヤの彫品量は「豪華工芸の堂々の美」をあらわします。

ご自分の人生を振り返ることも、将来を語ることもできるオーナーに贈りたい。

これからの高級車は、日本国内だけでなく、世界に通用するクルマでなければならない。あらゆる制約から解放されて、自由な発想から生まれるクルマでなければならない。新しいビッグ・カーのテーマは、ここから出発しました。クルマを趣味性の高い、生活文化の一環として、考えたかったからです。ボディそのものから新たに設計すること。国産車最高の心臓を持つこと。これまで培ってきた日産の技術を惜しみなくすべて投入すること。そのひとつの結論が、3ナンバー専用車の、「グロリア・シーマ」です。ゆったりと幅広く、大きく、長い。伸びやかで、優美で、それでいて途方もない力を秘めた曲線。これまでのカテゴリーにはまったくなかった高級車です。世界に通用するラグジュアリー・ビッグ。そのポテンシャルは、つきあえばつきあうほどきつと深く感じていただけることでしょう。グロリア・シーマ。これが、新しいビッグ・カーの価値基準です。

At Nissan, we believe that the culmination of automotive excellence results in a truly well-bred automobile that is highly valued not only in the domestic market but also in the international market. This automobile should be a statement of one's life-style, singularly distinguished.

To accomplish this formidable challenge and build the ideal car, engineers must be free of any limitations whatsoever.

This fundamental belief formed our approach in designing and producing the Nissan GLORIA CIMA. Starting completely from scratch, we equipped this sleek luxury sedan with an incredibly sophisticated V-6 3-litre twin-cam engine. Nissan's accumulated technology can be found both inside and out.

The end result: A car with road manners that rival the world's finest luxury sedans. Overall dimensions include a 4,800mm carriage length and 1,770mm width. Wide and long, the Nissan GLORIA CIMA boasts stylish curves and a shape that helps open endless opportunities on the road. Its high level of intelligence and sophistication is rarely found among reasonably priced luxury sedans.

Which, in all likelihood, explains the Nissan GLORIA CIMA's highly regarded international reputation.

The Nissan GLORIA CIMA. It sets new standards for luxury sedans.

きっと、新しいビッグ・カーの時代が来る。



私はシーマを待っていました。

時代は大きなゆとりを待っていました。

心をよりゆたかにしてくれるもの。

今クルマの分野にもそんな想いにこたえるビッグ・カーが現われました。

新しいグロリアの頂点、グロリア・シーマ。

そこには大きな視点から生まれた大胆さと

小さなパーツにまで妥協を許さない繊細さが生きています。

それは一つの理想を追い求めたかたちです。

心のゆとりという理想。

私が待っていたのは、そんな一台です。

私が待っていたのは、この新しいビッグ・カーです。





写真のボディカラーはパールブラックメタリック。オプションのエアロパーツは別売。写真はメーカーオプション。

TYPE II LIMITED / TYPE II



LEXUS SC400 2+2 CONVERTIBLE

TYPE I



タイプⅡはステアリング、後席ヒーターシートとヘッドライアー自動車電圧はオプション。
ホイスターコントロールは販売店がオプション。



快い刺激と自由という想い。高性能の深さを識る。

新しいビッグ・カー、シーマのコクピットは、オーナーの心の解放区として、しつらえても、まるでオーダーメイドのような質感のパーソナルキーでイグニッションON。小気味いいツインカムサウンドが心地良い興奮を呼び起こしてくれます。上質の素材をいかし、大らかに形造られたインストルメント、メーターパネルは眼に優しい木目模様、そして自然な振舞いで手に触れる操作系、それらがこのクルマの持つ豊かさを充分に語ります。そこにはビッグ・カーとしての新しい価値基準を導き出しています。人の五感にとって何がベストであり、気持ちよく運転していただけるかを突き詰めた結論がこのコクピットなのです。ですから、取り直したような素っ気なきは、ここにはないはず。シーマは、人とクルマの奥深い付き合い方をよく知っています。ときには運転しながら思考を遊ばせ、ときには心を解き放って走らせたいオーナーの気持ちをよく理解しています。そのうえでシーマの高性能、シーマのゆとり、シーマの優しさをチューニングしてあります。オーナーの方には、心の制約を取り払ってお乗りいただけるはず。シーマの価値基準で選びぬいた優れた装備品。シーマは、機能優先で装備品を配したばかりでなく、指先のタッチ感にまで神経をゆきわたらせ、その素材感、デザインにシーマ・イズムを徹底しています。装備品個々の品質についても、このビッグ・カーにふさわしいものを選びぬきました。その代表的なものとして――

PROアコースティックサウンド^①は高級車としての音質を深く追求、自然な音場を再現し、聞き疲れないサウンドシステムの逸品です。さらにCDプレーヤー^②（オプション）も用意しました。光通信スタンバイスイッチ^③（オプション）はASCD、オーディオ、エアコン操作が行えます。ハンズフリー自動車電話^④（オプション）は短縮ダイヤルをタッチするだけで、受話器を取らずに会話が出来ます。また、ドアミラーワイパー^⑤（オプション）のほか、雨滴感知式開けっ放しオートワイパー^⑥（オプション）、オートリフレックスルームミラー^⑦（オプション）も用意。





私的であり知的。心と身体の緊張が解けてゆく。

オーナーと、お迎えするゲストの豊かなくつろぎを、シーマはこのビッグキャビンで約束する。乗る方の気持ちでもできるおざり解きは、いたるところに維持したい。シーマはスペックのみを先行させず、オーナー自身にかつてない大いなるくつろぎを味わっていただくために、このキャビンを提供します。その豊かさはまた、ときとしてお迎えするゲストへの最高のもてなしともなはずで。室内長1950mm(※1)は、室内幅1460mmという広々とした空間にゆたかりとしたシート、脚を伸ばし伸ばしと遊ばせてくれる床面積。そしてセンタービュウランスの開放感。心のひだりが静かに開かれていくように、自分に選ばれる場所、そして大切なゲストを迎える場所、パージナル・キャビン、くつろぎは、このうえありません。また、スタイラスが香りたつ、上質な本皮シート(※2)も用意しました。

快適パワー機構、そして後席のゲストのために。新しい時代のビッグ・カーとして、機能性の追求だけでなく、人間工学に深く踏み込んだシーマは、さりげなく豊かさを表現しながら、その機能性、そして使い易さに大変優れています。運転席のドアトリム(※3)をご覧ください。ここには運転席パワーシート(※4)のスイッチがあります。パワーシートのスイッチは、わがややすい形状で操作しやすく、ベストポジションに調整できます。またパワーウィンドウのスイッチ配列は、自然に手を置く方向に向けられています。リヤコントロール(※5)は後席のゲスト自身がオーディオ、エアコンを操作できるほか、マイクヘッドホン(※6)も装備してあります。後席用のパニキュラー(※7)も装備してあります。また新熱ダラス(※8)や前・後席でそれぞれ温度設定できるフルオートエアコン(※9)、メモリーチェアコントロール(※10)など、快適な空間が得られます。後座席にはヒーターシート(※11)も用意して、ゲストへの配慮も欠かしていません。





タイプIIIリセッティング

シーマは、3ナンバー専用ボディ。

シーマが獲得したボディは全長4890mm、全幅1770mm、全高1380mm（（1375））かつ、側面を見ないロング&ワイドロー、カーデザインにおいて美の三大要素といわれるこれらの要素を、サイズの制約を超えて自由な発想からバランスさせた理想のカたちです。自由に伸び伸びデザインされたビッグボディ。こんなプロポーションはいかがでしょうか。フロントは、ヘッドランプをサイドに回り込ませない新しい個性的な顔立ち、たっぷとした張りのあるフード、気持ちよく振り込まれたフェンダー。そしてボディサイドはボリューム感のある曲面がテールエンドまで続きます。バンパーに埋め込まれた楕円形のコーナーリングランプと、新デザインのドアミラーが、シーマのエクステリアの斬新さといっそう引き立てます。豊かなリヤビラーからリヤフェンダーに至る伸びやかな流れ、リヤウインドウの柔らかな丸み、そしてリヤコンビネーションランプは、優雅さを物語ります。大いなるものは、手造りのような細やかな美意識によってこの存在感を誇り得たのです。ひとたび走り出したときの圧倒的な力感は、新しいビッグ・カー、シーマのもっとも美しい姿として、運の転換にも深く刻みこまれることでしょう。

ボディにこの質感をもたらせた高品位塗装。

外板に表面が均質で耐蝕性に優れた「レーザーミラー」鋼板などを使用しうえて、塗装は、日産の最新技術4コート4層（4層塗装・4層焼付）という多重工程を採用し、人念に磨き上げています。いかなるシーンにおいてもボディカラーはそのフォルムと引き合い、より深みのある表情を常に保ち続けます。

Quality

伸びやかな美しさ。大いなるゆとり。シーマ、このクルマは、オーナーの気持ちの豊かさをそのまま映し出すようだ。

この美しさをいつまでも保つ防錆性能。

シーマは、いつまでも永く（オーナーに愛されたい）と願っています。したがって、クルマにとって大敵であるサビ対策にも、徹底した姿勢を採っています。ここにはね石が当たりやすい箇所や傷つきやすい箇所は、それが原因で腐食の進行を早めるので、ここに新素材、亜鉛ニッケル合金メッキ鋼板を採用。新聞紙の厚さカチオン電着塗装を施し、防錆ワックスを人念に塗布。ボディの美しさを永く保ちます。

シーマの骨格は、高剛性モノコックボディ。

ボディがそのままシャーシ・フレームと一体となったモノコックボディ。したがって、強固なうえにボディ剛性も高く、ハンドリング、乗り心地、静粛性に好影響を与えます。また、衝撃のエネルギーをボディ全体に分散吸収し、キャビンを守るので、万一の際の被害を最小に抑えます。安全性の高さにはこのボディの誇るべき利点。ビラーレスハードトップもこのボディが実現したものです。



開放感を感じるビラーレスハードトップ。

パーソナル感が強く、なおかつ後座にお乗りになるゲストへの配慮として乗降性に優れた4ドアハードトップ。シーマはセンターピラーのない、すっきりとしたカタチです。これは安全性を重点に長い歳月をかけて研究し続けた日産の技術力が、乗る人のための高水準を追求したもので、ビラーレスの快適さをもたせています。その開放感は、心を爽快さで満たしてくれるにちがひありません。

知的空間として、音へのこだわり。

ドアを閉じる音からも、造りのよさを感じさせるシーマは、キャビンの静粛性においても高いレベルに達しています。遮音材をふんだんに用い、ボディ全体の振動を抑え、さらに徹底したフラクシユアーフェイズ化を図りました。この高い静粛性によって、高性能オーディオもより際立ちます。また、人にやさしい音質のソフトウェア・アクラクションに採用したほか各種警報音の音色にも心をこらしました。

温かみを感じさせるシーマのインテリア。

膨大なビジネスワークをこなせるオーナーにとって、シーマとの付き合いはきわめて限られた時間にもなり、あきません。ビジネスからビジネスへのわずかな移動時間、あるいはウィークエンド、また大切なゲストが同乗することもあてられ、それだけに、オーナー自身が心身ともに休まる空間で、しかもどなたが同乗される場合でも、ともにリラックスいただけるキャビンでなければなりません。シーマのインテリアは、こんなオーナーのシーンを想定して仕立てられています。まったく無理のない自然な造形、無意識のうちには人の気持ちを豊かにしてしまふシート、100%ウール素材（（100%））の吸湿性、肌ざわり、そして静電気帯電防止処理、長時間を走行したあとも、あまり疲れを覚えない構造。ドアウエスト部の柔らかなふくらみは、シーマのゆとり深さを表わしています。そして優れた機能性をもつ各種装備のスイッチ部は、木目模様をぬい、趣味的のよさをかもし出します。温かみにあふれるインテリア、これらが広いスペースのなかで乗る人の気持ちを柔らかに解きほぐしてくれることでしょう。新しいビッグ・カーとしての豊かさが、このキャビンにあふれています。

安心感がふくらむ数々のセーフティ機構。

頑丈なモノコックボディ、このビッグボディを軽々と走らせ、確実に止める無類の制動性能。それ以外にこのクルマには数々の安全機構があります。フロントシートベルトはショルダー上下調整式ランションレスELR付でいかなる体格の方にもジャストフィット。圧迫感がないので自然な姿勢で運転しやすくなります。後座にも3点式ELR付シートベルト（センターシートは2点式）を装備しました。また、ライ機構、ヒール機構で最高水準にあるほか、フロントガラスに付着する油膜を一掃にして取り除くニュウクス（油膜とりウォッシャー）、フロントはより、リヤにも合わせガラスを標準装備するなど安全面でも徹底しています。

国内最高峰255PS。V6、3000ccツインカムターボ、VG30DET。シーマの大きいボディのための、

いつか超えられるだろうか。VG30DET。

発売以来わずか1年半で生産累計100万台を達成した日本のV型エンジン。日本のV型エンジンは、このエンジンにのっとるにあつたのではない、そんな気さへ起こさせます。柔軟性、そしてローシフトダウンでの回転数でも採用しているように、ハイパワーでも簡単に引き出すレイアウト、新しいベリッパ・カーブシマの太いものゆゑのためには、このV型エンジンが人体質の高回転域「フューエル」こそと重要な1つのです。では、6,000rpm以上でカムターボ、国内最高峰AVG30DET、発進加速中間加速、そして負走も知らぬ、737km/h伸び、その速度から一気に抜け出て、くるくるめく加速感、思い通りに走り出せる、カムターボがそれほど高いわけでは、それはそのまま進行時のゆとりにつながります。そのAVG30DET、日本トップクラスの量産車、3900cc V型8気筒、4カムインジェクタ24バルブAVG30DEに、これほど日本の誇るアインゼラックス製、インフローターを装着し「高レスポンスターボの小小型」「高出力化・ターボの人型化」という相反する要求を高次元で両立させたのです。ひいてはタービンローターの小小型化によって軽量の過給システムが得られたこと、そして独自の材料研削技術、ハワングレード形状の最適設計能力、タービネーターを人型化して遊戯的な力を倍増し高められ、これにより技術的背骨があらわした「カムホースにーションのAVG30DETまで小さく分ける出力特性」をある意味、この驚異：ターボを装着したことで出力対動力乗用車のみの255PS 6000rpmより、最大トルク35.0kgm、3200rpmに達しています。しかもタウルクを盛ることなく、20%割増しの動力性能をもとに簡単に引出される結果、めげられるまでも乗り倒してこれたのだと疑念めな性能でも味あふなかった、新しい感動となつていくでしょう。シマのもの典深に魅力の一環といえる素晴らしいエンジン、個性化への

日産の最新テクノロジー、さら星のごとく、
可変電気コントロールシステム(NICS)。全
域で効率的な燃費を行なうため、プラナチ
ンに可変バルブを設定、低回転域時に閉じ
高回転域時に開きに切り替え、出力力、燃
費を発生させるシステムです。スロットルレ
バーに優れるインスロトルチャナバーに相
まって心地よい加速フィーリングを実現して
います。あわせて可変バルブタイミングコント
ロールシステム(NICS)を備え、電圧制御



ツインカムターボの専用メカニズム

VG30DEトーションには、ハイオクガソリンに対応して、ハイオク対応過給圧電子制御システムを採用しました。運転条件、気象条件、ガソリン性状にかかわらず、常に最適な過給圧に制御し、全域にわたる高出力化に大いに効果を見られます。また、ピストン冷却油圧シフトを高めることにより、ピストンを冷却し耐久性を高めるだけでなく、フロッギングを抑える効果があります。

で吸気バルブの開閉タイミングを最適に制御し、出力・トルクを高めるほか、燃費面でも大きく貢献。また、NDS（ノズル・エレクトロニクス）システムは、エアシリンダバルブを各気筒のプラグに直接取り付け、ECCSコントロールユニットから最適点火時期を指示し、常に安定した燃焼により、高出力・高トルクにつながるシステムです。また、数々の先進のメカニクスによって高品質の業績といえる耐摩耗性を高レベルで実現しています。

高レスポンスなハイパワー・VG10DE。
ビッグボディを軽た運動に躍動させる
VG10DE。右足の動きに直結して即座に反
応し、軽快なペダルワークをアシストす
る。高い伸び、メーターからは、人の駆動
のよみメカニズムが強い力を伝えてき
ます。高回転にこそ高感度、スチアリングを
メーターが振動を下げる。そんな光景は目
撃することができます。VG10DE、200PS、6000rpm
から発生する最大出力20PS、6000rpm

140kg、最大トルク26.5kgm、4410rpm、
低回転域でもレスポンスよくトルクを引き
出し、踏み込んだ瞬間のパフォーマンスを発
揮、ビョウカー、シーマを意のままに操る気
で、それはこの3000ccツインカムエンジ
ンの期待を超える痛快さによって、より、一層
増幅される面白さがあります。

フルレンジ電子制御オートマチック。

の感覚に最も近いようにして実用スケーリング
の調整を行う最新オートマチックレベル
コントロール(AUT)と、車速を感知温度、スロウ
ダウン、エンジン回転数など各種センサー
の情報やセンタースクリーンで解決。変速ノ
ックを作動する前にせめて細く電子制御
で常態のまま変速します。加速したい時、
減速したい時、気持がスムーズなフィーリングで
運転すると、超短時間の変速切替をさせま
すし、また、超短時間のクラッチを使用し、
技術的な加減速フィーリングを感じ、細かく電
子制御はって変速によるショックなく、きめ
てスムーズで心地よい走りを実現し、楽し
んでいるはずという、まさに「ドライブモード」や「シ
フト」までより遠征できるスポーツモードを付
け、走り条件に応じて最適なモードを選択
できます。よほど人間にやさしいイコフレーション
(EAT)、ハイパーの快適な乗り換えに換装す
る爽快さにも、レーサーの尊厳さを象徴するよ
うな質の高さを覚える高性能な高感度オー
トマチックです。これらも、新しいゼッドカー
のためには用意された。

えいへん乗り心地、ス
ピック・カー、シーマ
のシャシー能力、素晴らしい
圧倒的な動力性能を
に快適な走行ファース
マシーのキャパシタ
心地に影響し、走行
ど、総合的な性格とな
は、新しいビック・カー
プトをもって、この足

かました、スリッパ式独立懸架システムを採用。リアアーム式独立懸架との4輪独立型サスペンションは数多くのスポーツタイプが採用し、その優れた運動性能と信頼性が評価のレイアウト。日産でも多くの車種で用、膨大なノウハウの蓄積があり、そのノウハウを結集して熟成、シーマの誇る足まわりの完成させられた。直進安定性は、より、ハンドリング、ハイウェイでの車体安定性をももた安定感。ハンドリングに対する応答性も瞬時に、スライディングをとるオーナーを安全に満足させるでしょう。タイプIIはツインタイプIIに電子制御エアサスペンション。スポーツ性の強いタイプII SCは専用チューンしたスポーツエアサスペンションを備えています。

4 輪独立懸架サスペンションの性能
フロントはストラット式、直進性に優れた、走行中、路面からの突き上げや車体の反跳を防ぎ、快適な乗り心地を実現する。防振サスペンションメンバー付き、クランクメニオン式電子制御フォースアアシストによって、めぬくで正確なハンドリングも実現しています。リヤは乗り心地に優れた運動性能を備えたトレイリングアームです。このサスペンション方式に数々のチューニングを施し、ビッグ・カーにふさわしい安定性を獲得しました。このサスペンションの優秀が明確に出るいわゆるコーナードライヴに、秋野の安定性を発揮しま

ステアリングを握る人と風景を楽しむ人。シーマの脚は、その両者に違う快適さを、同時に提供する。

電子制御エアサスペンション。

乗り心地・操縦安定性を高めるために、車高調整機能をもたせた電子制御エアサスペンション、2つのスラム、2段階のパネ定数をもつエアスプリング、3段階の減衰力をもつショックアブソーバを4輪に装備。きめ細かな検知を行なう車高センサをはじめ合計11種類のセンサによって路面状況、走行状況を把握し、パネ定数、減衰力を電子制御。乗員数による車高変化を防ぎ、車両姿

太いなる安心感をもちますビスカスLSD。
シームは、ビスカスLSD（リキッド・クリップ・アップ）を装備しています。その優れた粘着力に評価されているビスカスカップリングをLSDに活用したのです。ビスカスカップリングは封入しているシリコンオイルの粘着性によって、突如とならぬ自然な感覚で作動します。またコーナリング中や高速走行時の横滑りによる激振りに同様に必ずしも、スムーズに作動、挙動変化を得、走行安定性を

勢を常にベストに保ち、優れて安定性は最も
な乗り心地が得られ、高速走行では自
制御に乗高を下し、路面に安定性を増します。
制動モードは、NORMAL(通常の乗車)
とSPORTY(スポーツした乗り心地)と安
定性)の2モード設定。さらにスリッパ操作
で、HIGH(急路走時、路面との1歩ゆとり
減)、EXTRA HIGH(標準時や雨のみ、
イテチェーンの装着など)の2つの車両高
勢が得られます。

● 2007年1月現在



いちじるしく高まる効果もあわせています。また、このピスカスLSDの大きな特長のひとつは、弯路やおかしななごころのスムーズな脱出性があります。左もいすれおの後輪空転を始めれば、反対側の車輪一瞬時にそして確実に駆動力を伝え、容易に脱出するというわけですが、スナッピングをとる人にとっては大きな安心感となり、どんな走行状況下でも気持ちにゆとりをもって運転できるでしょう。

より高い安全性を求めて、制動力強化に互列的な制動力性能には、それ以上の制動力が求められることは当然のことである。優れた安全性を持たすべく良のビッド・カは保持できず、シマアのブレーキは、熱性に富み、常に安定した制動力を発揮するベンチャーシステムでアクスルブ레이크を4輪採用してステディシャルを高め、万全な安全性を確保する。4WAS(4輪アンチスキッド・ブレーキシステム)を採用したことで、急制動時でもタイヤロックせず、4WAS、滑りやす、路面で急ブレーキをかけると、4輪がロック、スリップが起らないように、4輪がロックして、その間に電圧降下を防止し、シマアは4輪アンチスキッドブレーキシステム(4WAS)を採用している。シマアは、直2輪とヤダゴの3つのシステムがあり、車中のスラック状態を逐一検知、ブレーキ回路を電子制御して車輪のロックを防ぐものである。それは、レーシーやサーキット急制動時には思い通りに行かない場合も、ブレーキより、よほどに高密度のブレーキグロンOFFになるため、たとえ遅い動きや連続走行という低速度でもブレーキングしながら「カーブ」の場合にはブレーキも入る、突如の障害物と出会ってもブレーキングしながらハンドリングでの障害物を避けることができる、また、品質のよさを表わすように、これを伝えるブレーキシステムへのキャパシティ小さく、違和感おぼえず、シマアは車輪の安全をすべて優先する、という大前提がこの先進的ブレーキシステムで実現している。

(トヨタ自動車株式会社)

操作性を重視したパーキングブレーキ、非力な女性でも操作しやすい、イメージ・ブレーキシステムを採用しています。そのためには、フットレスト上にあるペダル型、解除はセンターコンソールにあるボタンを押せば簡単に容易さ、ドライバーの負担を軽減することができます。

いつもとは、違う夢。シーマ・タイプII-S。



大いなるスポーツ心を解き放っていただきたい。
このクルマは、その期待を超えて存在します。



ビッグ・カーをスポーツ化に
乗りこんでいたのだ。タイ
プB、S、そのダイナミックな
フォルムはエアロダイナミクスに
ついていっしょ引き締め、一流
のスポーツマンに似た爽やかさ
を見逃さず。
柔らかな曲線構成のメンバー
と一体化したフロントスポイ
ラーとリアスポイラー、細く
強靱さを下す窓のブラックス
モール。ビッグ・カーとしての
安定感にも優れた空力性能を
達成しています。エンジンには
VG30DETT。この国内最高
のエンジンスペックは、およそ
170馬力。しかも、お乗りの方
に、お乗りの方の、お乗りの方



そして専用チューニングを施したスポーツィカス
ベンション、215/60タイヤで瞬は強固に、しな
やか、鍛造アルミロードホイールも用意(オプション)。
シートは大人のスポーツ感あふれるワイド調ウ
ールのシートとレザー張りのドアトリム。専用オー
ナメントも配して、これまで出逢った多くの高級高
性能車とは明らかに異なるであらうタイプII-S。
大きなスポーツ志向と、確かな実用性の持ち主は
は、きっと魅惑の一台となるでしょう。



